

注意事項

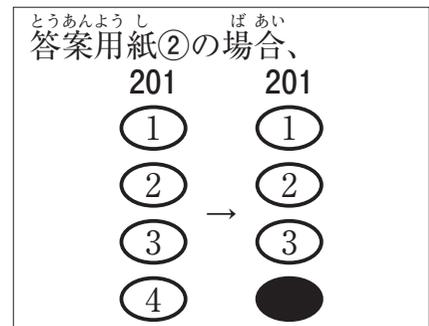
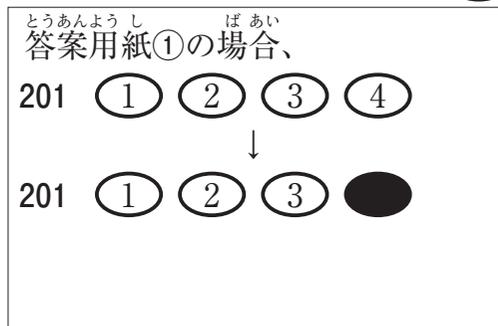
1. 試験問題の数は120問で解答時間は正味3時間30分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。  
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 看護業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 看護師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。



れい  
(例 2)

202 ほけんしじょざんしかんごしほう せいていとし  
保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. めいじ ねん ねん  
明治 32 年(1899 年)
2. たいしょう ねん ねん  
大正 4 年(1915 年)
3. しょうわ ねん ねん  
昭和 23 年(1948 年)
4. しょうわ ねん ねん  
昭和 43 年(1968 年)
5. へいせい ねん ねん  
平成 13 年(2001 年)

せいかい  
正解は「3」であるから答案用紙の **(3)** をマークすればよい。

とうあんようし ばあい  
答案用紙①の場合、

202	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			↓		
202	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

とうあんようし ばあい  
答案用紙②の場合、

202	202
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	→ <input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

れい  
(例 3)

203 かんごしせきとうろく ふたえら  
看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. せいねんがっぴ  
生年月日
2. じゅけんねんがっぴ  
受験年月日
3. そつぎょうねんがっぴ  
卒業年月日
4. しゅうぎょうねんがっぴ  
就業年月日
5. とうろくねんがっぴ  
登録年月日

せいかい  
正解は「1」と「5」であるから答案用紙の **(1)** と **(5)** をマークすればよい。

とうあんようし ばあい  
答案用紙①の場合、

203	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			↓		
203	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

とうあんようし ばあい  
答案用紙②の場合、

203	203
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	→ <input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

正解は「90」であるから①は答案用紙の⑨を②は①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

204	①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	●
	②	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

204	①	②
	0	●
	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
	●	9







1 平成<sup>へいせい</sup>29年<sup>ねん</sup>(2017年<sup>ねん</sup>)推計<sup>すいけい</sup>による日本の将来推計人口<sup>にほん しょうらいすいけいじんこう</sup>で令和<sup>れいわ</sup>47年<sup>ねん</sup>(2065年<sup>ねん</sup>)の将来推計人口<sup>しょうらいすいけいじんこう</sup>に最も近い<sup>もっと ちか</sup>のはどれか。

1. 6,800万人<sup>まんにん</sup>
2. 8,800万人<sup>まんにん</sup>
3. 1億800万人<sup>おく まんにん</sup>
4. 1億2,800万人<sup>おく まんにん</sup>

2 生活習慣病<sup>せいかつしゅうかんびょう</sup>の三次<sup>さん</sup>予防<sup>じ よ ぼう</sup>はどれか。

1. 健康診断<sup>けんこうしんだん</sup>
2. 早期治療<sup>そうき ちりょう</sup>
3. 体力づくり<sup>たいりよく</sup>
4. 社会復帰のためのリハビリテーション<sup>しゃかいふっ き</sup>

3 職業性<sup>しよくぎょうせい</sup>疾病<sup>しつぺい</sup>のうち情報機器<sup>じょうほう き き</sup>(VDT)作業<sup>さぎょう</sup>による健康障害<sup>けんこうしょうがい</sup>はどれか。

1. じん肺<sup>ばい</sup>
2. 視力障害<sup>しりよくしょうがい</sup>
3. 振動障害<sup>しんどうしょうがい</sup>
4. 皮膚障害<sup>ひ ふ しょうがい</sup>

4 介護保険<sup>かいご ほけん</sup>における被保険者<sup>ひ ほけんしゃ</sup>の要支援状態<sup>ようし えんじょうたい</sup>に関する保険給付<sup>かん ほけんきゅうふ</sup>はどれか。

1. 医療給付<sup>いりょうきゅうふ</sup>
2. 介護給付<sup>かいご きゅうふ</sup>
3. 年金給付<sup>ねんきんきゅうふ</sup>
4. 予防給付<sup>よ ぼうきゅうふ</sup>

5 看護師免許を付与するのはどれか。

1. 保健所長
2. 厚生労働大臣
3. 都道府県知事
4. 文部科学大臣

6 Fink, S. L. の危機モデルで第2段階はどれか。

1. 衝撃
2. 承認
3. 適応
4. 防御的退行

7 Havighurst, R. J. の発達課題で善悪の区別を学習するのはどれか。

1. 乳幼児期
2. 児童期
3. 青年期
4. 中年期

8 次の時期のうち基礎代謝量が最も多いのはどれか。

1. 青年期
2. 壮年期
3. 向老期
4. 老年期

9 世界保健機関〈WHO〉が平成12年(2000年)に提唱した「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」はどれか。

1. 健康寿命
2. 健康余命
3. 平均寿命
4. 平均余命

10 指定訪問看護ステーションには常勤換算で( )人以上の看護職員を配置することが定められている。

( )に入るのはどれか。

1. 1.0
2. 1.5
3. 2.0
4. 2.5

11 左心室から全身に血液を送り出す血管はどれか。

1. 大静脈
2. 大動脈
3. 肺静脈
4. 肺動脈

12 内分泌器官はどれか。

1. 乳 腺
2. 涙 腺
3. 甲状腺
4. 唾液腺

13 こきゅうちゅうすう 呼吸中枢があるのはどれか。

1. かん 間 のう 脳
2. しょう 小 のう 脳
3. だい 大 のう 脳
4. のう 脳 かん 幹

14 さいきんかんせん お 細菌感染で起こるショックはどれか。

1. しんげんせい 心原性ショック
2. はいけつしょうせい 敗血症性ショック
3. アナフィラキシーショック
4. じゅんかんけつえきりょうげんしょうせい 循環血液量減少性ショック

15 ていたいおん かいふく 低体温から回復するための生体の反応はどれか。

1. はっ 発 かん 汗
2. ふるえ
3. じゅうさん 乳酸 ちくせき の蓄積
4. たいひょうめん 体表面 けつりゅうぞうか への血流増加

16 ひんけつ ていぎ ただ 貧血の定義で正しいのはどれか。

1. けつあつ てい 血圧が低下すること か
2. みやくはく 脈拍が速くなること はや
3. た 立ち上がると失神を起こすこと あ しっしん お
4. のうど ヘモグロビン濃度が減少していること げんしょう

17 全身性けいれん発作を起こしている患者に最も優先して行うのはどれか。

1. 気道確保
2. 周囲の環境整備
3. 末梢静脈路の確保
4. 心電図モニター装着

18 左心不全でみられる症状はどれか。

1. 肝腫大
2. 下腿浮腫
3. 起坐呼吸
4. 頸静脈怒張

19 大腸の狭窄による便秘はどれか。

1. 器質性便秘
2. 痙攣型便秘
3. 弛緩型便秘
4. 直腸性便秘

20 左片麻痺患者の上衣の交換で適切なのはどれか。

1. 左腕から脱がせ、左腕から着せる。
2. 左腕から脱がせ、右腕から着せる。
3. 右腕から脱がせ、左腕から着せる。
4. 右腕から脱がせ、右腕から着せる。

21 転倒・転落を起こすリスクを高める薬はどれか。

1. 降圧薬
2. 抗凝固薬
3. 気管支拡張薬
4. 副腎皮質ステロイド薬

22 注射針の刺入角度が45～90度の注射法はどれか。

1. 皮下注射
2. 皮内注射
3. 筋肉内注射
4. 静脈内注射

23 点滴静脈内注射で輸液ポンプを使用する際に設定する項目はどれか。

1. 薬剤名
2. 終了時間
3. 投与月日
4. 1時間あたりの流量

24 褥瘡の深達度分類で水疱形成のステージはどれか。

1. I
2. II
3. III
4. IV

25 もっと たか しょうど ひつよう  
最も高い照度を必要とするのはどれか。

1. 病室  
びょう しつ
2. 手術野  
しゅじゅつや
3. トイレ
4. 病棟の廊下  
びょうとう ろうか

26 せいたない しょうぶんかい  
生体内でタンパク質が分解され、アミノ酸の代謝が進んで生じたアンモニアは肝臓で( )に変換される。

( )に入るのはどれか。

1. 尿酸  
にょう さん
2. 尿素  
にょう そ
3. 亜硝酸  
あしょうさん
4. 一酸化窒素  
いっさんかちつそ

27 じゃくねんしゃ こうれいしゃ ねつちゅうしょう お りゆう  
若年者よりも高齢者が熱中症を起こしやすい理由はどれか。

1. 熱産生量の増加  
ねつさんせいりょう ぞうか
2. 熱放散量の増加  
ねつほうさんりょう ぞうか
3. 自律性体温調節反応の低下  
じりつせいたいおんちようせつはんのう ていか
4. 視床下部の体温調節中枢のセットポイントの低下  
ししょうかぶ たいおんちようせつちゅうすう ていか

28 ABO 式血液型しきけつえきがたにおけるオモテ検査けんさとウラ検査けんさの結果けつ か ひょう しめの表を示す。

オモテ検査 <small>けんさ</small>		ウラ検査 <small>けんさ</small>		血液型 <small>けつえきがた</small>
患者血球使用 <small>かんじゃけつきゅう しよう</small>		患者血清使用 <small>かんじゃけつせい しよう</small>		
抗 A 血清 <small>こう けつせい</small>	抗 B 血清 <small>こう けつせい</small>	A 型血球 <small>がたけつきゅう</small>	B 型血球 <small>がたけつきゅう</small>	
+	-	-	+	①
-	+	+	-	②
-	-	+	+	③
+	+	-	-	④

表の+は凝集ひょう ぎょうしゅうあり、-は凝集なしぎょうしゅう しめを示す。

血液型判定の結果けつえきがたはんてい けつ か がたがO型となるのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

29 上位運動ニューロン徴候および下位運動ニューロン徴候の有無について表に示す。

		下位運動ニューロン徴候	
		あり	なし
上位運動ニューロン徴候	あり	a	b
	なし	c	d

筋萎縮性側索硬化症<ALS>において正しいのはどれか。  
amyotrophic lateral sclerosis

1. a
2. b
3. c
4. d

30 診療報酬制度について正しいのはどれか。

1. 診療報酬の点数は3年に1回改定される。
2. 診療報酬は都道府県が医療機関に支払う。
3. 医療機関への支払いは出来高払いのみである。
4. 厚生労働大臣の指定を受けた医療機関で利用できる。

31 つぎ ほうりつ のうち もっと あたら せいてい  
次の法律のうち最も新しく制定されたのはどれか。

1. 未成年者喫煙禁止法  
み せいねんしゃきつえんきん し ほう
2. 麻薬及び向精神薬取締法  
ま やくおよ こうせいしんやくとりしまりほう
3. アルコール健康障害対策基本法  
けんこうしょうがいたいさく き ほんほう
4. ギャンブル等依存症対策基本法  
とう い ぞんしょうたいさく き ほんほう

32 21 世紀における 第二次国民健康づくり運動〈健康日本 21(第二次)〉では、( )分野  
53 項目の目標が設定された。

( )に入る数値はどれか。

1. 4
2. 5
3. 6
4. 7

33 医療法に基づく記述で正しいのはどれか。

1. 病床の区分は療養病床と一般病床の2種類である。  
びょうしょう く ぶん りょうようびょうしょう いっぱんびょうしょう しゅるい
2. 地域医療支援病院は厚生労働大臣の承認が必要である。  
ちいき りょうし えんびょういん こうせいろうどうだいじん しょうにん ひつよう
3. 無床診療所の開設には厚生労働大臣への届出が必要である。  
むしょうしんりょうじょ かいせつ こうせいろうどうだいじん とどけで ひつよう
4. 有床診療所は19人以下の患者を入院させる施設を有するものである。  
ゆうしょうしんりょうじょ にん い か かんじゃ にゅういん しせつ ゆう

34 クリティカル・シンキングで適切なのはどれか。

1. 物事を否定的にみる。  
ものごと ひていてき
2. 根拠に基づいて考える。  
こんきょ もと かんが
3. 主観的な情報を重視する。  
しゅかんでき じょうほう じゅうし
4. 直感的に状況を判断する。  
ちよっかんでき じょうきょう はんだん

35 構音障害こうおんしょうがいがある成人患者せいじんかんじゃへの対応たいおうで適切なてきせつのはどれか。

1. 手話しゅわで説明せつめいする。
2. 筆談ひつだんを提案ていあんする。
3. 耳元みみもとで話しはなかける。
4. 不明瞭ふめいりょうな言語げんごは繰くり返し聞き直かえきす。

36 看護過程かんごかていにおいて評価ひょうかする項目こうもくはどれか。

1. 看護技術かんごぎじゆつの習得度しゅうとくど
2. 看護教育かんごきょういくの活用度かつようど
3. 看護記録かんごきろくの完成度かんせいど
4. 看護目標かんごもくひょうの達成度たっせいど

37 医療器材いりょうきざいと消毒・滅菌しょうどくめつきんの組合せくみあわで正しいただのはどれか。

1. 手術用持針器しゆじゆつようじしんき ————— 第4級アンモニウム塩だい きゅう えん
2. ステンレス製便器せいべんき ————— 熱水消毒ねつすいしょうどく
3. 軟性内視鏡なんせいないしきやう ————— 高压蒸気滅菌こうあつじやうきめつきん
4. ベッド柵さく ————— グルタラール

38 点眼薬てんがんやくの投与とうよについて正しいただのはどれか。

1. 点眼時てんがんじは上眼瞼じやうがんけんを上げるあ。
2. 点眼容器てんがんようきの先端せんたんは眼瞼結膜がんけんけつまくに当てるあ。
3. 点眼後てんがんごは眼球がんきやうを圧迫あつぱくする。
4. 眼から溢めれた薬液あふは拭やくえきき取るふと。

39 52歳の女性が上腹部痛と吐血を主訴に受診し輸血を行うこととなった。

輸血時の対応で正しいのはどれか。

1. 赤血球製剤を30～37℃で融解する。
2. 血液型検査とクロスマッチ検査用の採血を同時に行う。
3. クロスマッチ検査の結果を医師と看護師で確認する。
4. 輸血開始から15分後にアレルギー反応の初回観察を行う。

40 四肢の動脈性外出血に対する止血法で適切なのはどれか。

1. 出血部位を心臓より高く保つ。
2. 止血帯は幅1cm未満を用いる。
3. 止血帯は連続して4時間使用する。
4. 出血部位を動脈圧より低い圧で圧迫する。

41 成人の後腸骨稜からの骨髄穿刺で正しいのはどれか。

1. 仰臥位で行う。
2. 穿刺時は深呼吸を促す。
3. 骨髄液吸引時に痛みが生じる。
4. 終了後、当日の入浴は可能である。

42 Aさん(55歳、男性、会社員)は胃癌の終末期である。

Aさんの訴えのうちスピリチュアルペインの表出はどれか。

1. 「腹痛がずっと続いています」
2. 「吐き気が続くと思うと不安です」
3. 「今後の生活にかかるお金が心配です」
4. 「これまでの自分の人生が意味のないものに思えます」

43 A さん(63 歳、男性)は 3 年前から肺気腫で定期受診を続けていた。最近、歩行時の息切れが強くなってきたことを自覚し、心配になったため受診した。受診時、呼吸数は 34/分で、口唇のチアノーゼがみられた。

A さんについて正しいのはどれか。

1. 1 回換気量が増加している。
2. 呼気よりも吸気を促すと効果的である。
3. 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)は上昇している。
4. 病状が進行すると動脈血二酸化炭素分圧(PaCO<sub>2</sub>)が上昇する。

44 中心静脈栄養法を受けている患者の看護について適切なのはどれか。

1. カテーテルの刺入部は見えないように覆う。
2. カテーテル刺入部を定期的に消毒する。
3. カテーテルの固定位置を毎日確認する。
4. 予防的に抗菌薬の投与を行う。

45 高尿酸血症で正しいのはどれか。

1. 痛風結節は疼痛を伴う。
2. 痛風発作は飲酒で誘発される。
3. 痛風による関節炎の急性期に尿酸降下薬を投与する。
4. 血清尿酸値 9.0 mg/dL 以下を目標にコントロールする。

46 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症で正しいのはどれか。

1. 空気感染する。
2. 無症候期がある。
3. DNA ウイルスによる。
4. 血液中の B リンパ球に感染する。

47 こしつけいせいじゆつ う かんじゃ たいいん しどう ないよう ただ  
鼓室形成術を受けた患者の退院指導の内容で正しいのはどれか。

1. すいえい か のう  
水泳は可能である。
2. じこう じよきよ  
耳垢はこまめに除去する。
3. はな つよ きん  
鼻を強くかむことを禁じる。
4. しよう すず  
エレベーターの使用を勧める。

48 か たい かい たつけんいん う かんじゃ そくはい うた  
下腿の介達牽引を受けている患者が足背のしびれを訴えている。

かん こ し かくにん こうもく ゆうせん ど たか  
看護師が確認すべき項目で優先度が高いのはどれか。

1. か し し い  
下肢の肢位
2. けんいん ほうこう  
牽引の方向
3. じゅうすい おも  
重錘の重さ
4. だんせいほうたい  
弾性包帯のずれ

49 ぜんりつせんがん ただ  
前立腺癌について正しいのはどれか。  
prostate cancer

1. はいてん い ひん ど ひく  
肺転移の頻度は低い。
2. けっせい ち こう ち  
血清 PSA 値が高値となる。
3. かんじゃ おお さい み まん  
患者の多くは60歳未満である。
4. ほじゅうりょうほう おこな  
テストステロン補充療法が行われる。

50 にゅうがん かんじゃ たい こう やく ふくさよう  
乳癌の患者に対する抗エストロゲン薬の副作用はどれか。  
breast cancer

1. ていけつとう  
低血糖
2. ほてり
3. はいせん いしよう  
肺線維症  
pulmonary fibrosis
4. まっしょうしんけいしょうがい  
末梢神経障害

51 高齢者が術後に呼吸器合併症を発症しやすい理由はどれか。

1. 1秒率の減少
2. 残気量の減少
3. 嚥下反射の亢進
4. 気道の線毛運動の亢進

52 加齢に伴う高齢者の循環器系の変化で正しいのはどれか。

1. 運動時の心拍出量が増大する。
2. 拡張期血圧が上昇する。
3. 心室壁が厚くなる。
4. 脈圧が狭小化する。

53 結晶性知能はどれか。

1. よく利用するスーパーマーケットから自宅までの近道を考える。
2. パソコン教室で操作方法を覚える。
3. 携帯電話に電話番号を登録する。
4. 外国語の単語を暗記する。

54 令和元年度(2019年度)「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査」の結果において、養護者による高齢者虐待に関する説明で正しいのはどれか。

1. 夫による虐待が最も多い。
2. 被虐待者の9割が女性である。
3. 心理的虐待が全体の6割を占めている。
4. 被虐待者の認知症高齢者の日常生活自立度判定基準はランクⅡが最も多い。

55 退職した高齢者に就労機会を提供するのはどれか。

1. シルバー人材センター
2. 老人福祉センター
3. 老人クラブ
4. 自治会

56 高齢者に経口薬の薬効が強く現れる理由はどれか。

1. 骨密度の低下
2. 胃酸分泌の減少
3. 消化管運動の低下
4. 血清アルブミンの減少

57 新生児や乳児が胎児期に母体から受け取った抗体は次のどれか。

1. IgA
2. IgD
3. IgG
4. IgM

58 第二性徴で正しいのはどれか。

1. 女兒は乳房の発育から始まる。
2. 発現は男児が女児よりも早い。
3. 初経の開始後に、第二次発育急進が起こる。
4. 精通は11歳の男児のほとんども認められる。

59 学童期<sup>がくどうき</sup>の肥満<sup>ひまん</sup>で正しい<sup>ただ</sup>のはどれか。

1. Kaup<sup>しすう ひょうか</sup>(カウプ)指数で評価する。
2. 症候性<sup>しょうこうせい</sup>の肥満<sup>ひまん</sup>がほとんどを占める<sup>し</sup>。
3. 食事<sup>しょくじ</sup>では蛋白質<sup>たんぱくしつ</sup>の摂取<sup>せつしゆ</sup>制限<sup>せいげん</sup>を行う<sup>おこな</sup>。
4. 成人期<sup>せいじんき</sup>の生活習慣病<sup>せいかつしゅうかんびょう</sup>のリスク因子<sup>いんし</sup>である。

60 生後<sup>せいご</sup>11か月の男児<sup>げつ だんじ</sup>。ある日の朝<sup>ひ あさ</sup>、自宅<sup>じたく</sup>でボタン型電池<sup>がたでんち</sup>を飲み込んだ疑い<sup>の こ うたが</sup>があり、その日の午前中<sup>ひ ごぜんちゅう</sup>に外来<sup>がいらい</sup>を受診<sup>じゆしん</sup>した。胸部<sup>きょうぶ</sup>エックス線<sup>せん</sup>撮影<sup>さつえい</sup>によって、ボタン型電池<sup>がたでんち</sup>が食道下部<sup>しょくどうかぶ</sup>にあることが確認<sup>かくにん</sup>された。

行われる処置<sup>おこな</sup>で適切な<sup>しよち</sup>のはどれか<sup>てきせつ</sup>。

1. 背部<sup>はいぶ</sup>の叩打<sup>こうだ</sup>
2. 緩下薬<sup>かんげやく</sup>の使用<sup>しよう</sup>
3. 催吐薬<sup>さいとやく</sup>の使用<sup>しよう</sup>
4. 緊急摘出術<sup>きんきゅうてきしゅつじゆつ</sup>の実施<sup>じっし</sup>

61 正常な成長・発達<sup>せいじょう せいちよう</sup>をしている子ども<sup>はったつ こ</sup>の情緒<sup>じゅうぢョ</sup>の分化<sup>ぶんか</sup>で、生後<sup>せいご</sup>6か月ころからみられるのはどれか<sup>げつ</sup>。

1. 恐<sup>おそ</sup>れ
2. 嫉<sup>しつ</sup>妬<sup>と</sup>
3. 喜<sup>よろこ</sup>び
4. 恥<sup>は</sup>ずかしさ

62 性周期せいしゅうきとホルモンについて正しいただのはどれか。

1. 増殖期ぞうしょくきは基礎体温きそたいおんが上昇じょうじょうする。
2. プロラクチンによって排卵はいらんが起おこる。
3. プロゲステロンは子宮内膜しきゅうないまくの増殖ぞうしょくを促進そくしんする。
4. 排卵直前はいらんちよくぜんに黄体形成おうたいけいせいホルモン(LH)値ちが高たかくなる。

63 配偶者はいぐうしゃからの暴力ぼうりょくの防止ぼうし及び被害者ひがいしゃの保護等ほごとうかんに関する法律ほうりつ(DV防止法)ぼうしほうについて正しいただのはどれか。

1. 配偶者暴力相談支援センターはいぐうしゃぼうりょくそうだんしえんは被害者ひがいしゃの保護命令ほごめいれいを出だすことができる。
2. 配偶者はいぐうしゃには事実上婚姻関係じじつじょうこんいんかんけいと同様どうようの事情じじょうにある者ものが含まれるふく。
3. 配偶者はいぐうしゃからの暴力ぼうりょくを発見はっけんしたときは、保健所ほけんしょへ通報つうほうする。
4. 加害者かがいしゃの矯正きょうせいが法の目的ほうに含まれるもくてき。

64 Aさん(32歳、初産婦さいしよさんぶ)は前置胎盤ぜんちたいばんのため妊娠37週0日にんしんしゅうにちごぜんじの午前10時から帝王切開術ていおうせつを受ける予定かいじゆつうである。

手術前日しゆじゆつぜんじつの看護師かんごしの対応たいおうで適切なてきせつのはどれか。

1. 浣腸かんちようを行うおこな。
2. 夕食ゆうしょくが禁食きんしょくとなっているか確認かくにんする。
3. 輸血ゆけつの準備じゆんびができていないか確認かくにんする。
4. 下肢かしに間欠的かんけつてきくう空気圧迫装置きあつぱくそうちを装着そうちやくする。

65 新生児しんせいじの呼吸こきゅうの生理的せいり特徴てきとくちようで適切なてきせつのはどれか。

1. 成人せいじんに比べて肺くのガス交換面積はいこうかんめんせきが大きいおお。
2. 周期性呼吸しゅうきせいこきゅうがみられる。
3. 胸式呼吸きょうしきこきゅうが主おもである。
4. 口呼吸くちこきゅうが主おもである。

66 長期に大量飲酒をした後で、急に断酒した際にみられるのはどれか。

1. 病的酩酊  
pathological intoxication
2. 振戦せん妄  
delirium tremens
3. アルコール性認知症  
alcohol-related dementia
4. Korsakoff〈コルサコフ〉症候群  
Korsakoff syndrome

67 母親がAさん(27歳、統合失調症)に対して「親に甘えてはいけない」と言いながら、過度にAさんの世話をすることで、Aさんが混乱していた。

この親子関係を示すのはどれか。

1. 共依存
2. 同一視
3. ネグレクト
4. 二重拘束〈ダブルバインド〉

68 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉において、精神科病院で隔離中の患者に対し、治療上で必要な場合に制限できるのはどれか。

1. 家族との面会
2. 患者からの信書の発信
3. 患者からの退院の請求
4. 人権擁護に関する行政機関の職員との電話

69 感染徴候のない在宅療養者に対する床上での排便の援助において、訪問看護師が行う感染対策で適切なのはどれか。

1. 援助時には使い捨てのエプロンを着用する。
2. 使用済みのオムツは感染性廃棄物として処分する。
3. 使用済みの寝衣は次亜塩素酸ナトリウム液に浸す。
4. 陰部洗浄で使用したボトルの洗浄に中性洗剤は用いない。

70 Aさん(85歳、女性)は1人暮らし。うっ血性心不全で臥床して過ごすことが多い。訪問看護師が訪問すると、Aさんは体温37.6℃、口唇の乾燥はなく、体熱感はあるが手足が冷えると言って羽毛布団を肩まで掛けている。室温30℃、湿度65%、外気温は32℃、冷房設備はあるが使っていない。

このときの訪問看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 羽毛布団を取り除く。
2. 冷房設備で室温を調整する。
3. 頓用の解熱薬を服用してもらう。
4. 直ちに経口補水液を飲むよう促す。

71 Aさん(68歳、男性)は妻(68歳)と2人暮らし。膀胱癌で尿路ストーマを造設している。Aさんはストーマ装具の交換に慣れてきたため、妻と日帰り近くの温泉地を旅行する計画を立てており、外来看護師に助言を求めた。

外来看護師がAさんに助言する内容で適切なのはどれか。

1. 装具の交換に必要な物品一式を2回分持参する。
2. 旅行中の水分摂取は1日1,000 mL以内に控える。
3. 他の入浴客がいなければ装具を外して入浴できる。
4. オストメイト対応のトイレがなければ旅行先を変更する。

72 Aさん(76歳、女性)は1人暮らし。脳血管疾患で右半身麻痺があり、障害高齢者の日常生活自立度判定基準はB-2である。週に2回の訪問看護を利用している。

食事の準備と介助および食後の口腔ケアのため訪問看護を利用することになった。

訪問看護の担当者は、Aさんのケアについて訪問看護師に助言を求めた。

訪問看護師が訪問看護の担当者に助言する内容で正しいのはどれか。

1. 健側に頸部を回旋させ食事の介助をする。
2. 野菜は繊維に対し垂直に切って調理する。
3. 歯肉出血がみられたら口腔ケアは中止する。
4. 食事中はAさんの好きなテレビ番組を見せる。

73 機能別看護方式の説明で正しいのはどれか。

1. 勤務帯ごとに各看護師が担当する患者を決めて受け持つ。
2. 内容別に分類した看護業務を複数の看護師が分担して実施する。
3. 1人の看護師が1人の患者を入院から退院まで継続して受け持つ。
4. 患者を複数のグループに分け、各グループを専属の看護師チームが受け持つ。

74 看護におけるクリニカルラダーについて正しいのはどれか。

1. 病院に導入が義務付けられている。
2. ワーク・ライフ・バランスを目指すものである。
3. 臨床実践に必要な能力が段階的に表現されている。
4. 全国の病院で共通のクリニカルラダーが使用されている。

75 災害拠点病院の説明で正しいのはどれか。

1. 国が指定する。
2. 災害発生時に指定される。
3. 広域搬送の体制を備えている。
4. 地域災害拠点病院は各都道府県に1か所設置される。

76 平成27年(2015年)時点での世界の三大感染症に入るのはどれか。

1. ポリオ〈急性灰白髄炎〉  
poliomyelitis
2. マラリア  
malaria
3. 天然痘  
smallpox
4. 麻疹  
measles

77 肩峰があるのはどれか。

1. 鎖骨
2. 胸骨柄
3. 肩甲棘
4. 上腕骨
5. 烏口突起

78 股関節を屈曲させるのはどれか。

1. 大腿二頭筋
2. 大殿筋
3. 中殿筋
4. 小殿筋
5. 腸腰筋

79 採血時に操作を誤ったため溶血し、採血管内の血漿が暗赤色になってしまった。

この血漿の電解質濃度を測定したときに、本来の値よりも高くなるのはどれか。

1. 塩化物イオン
2. 重炭酸イオン
3. カリウムイオン
4. カルシウムイオン
5. ナトリウムイオン

80 糸球体濾過量の推定に用いられる生体内物質はどれか。

1. 尿素
2. イヌリン
3. ビリルビン
4. クレアチニン
5. パラアミノ馬尿酸

81 疾病の内因となるのはどれか。

1. 免疫複合体
2. 栄養素
3. 温度
4. 細菌
5. 薬物

82 舌癌<sup>ぜつがん</sup>について正しいのはどれか。  
tongue cancer

1. 癌全体<sup>がんぜんたい</sup>に対する発症頻度<sup>たい</sup>は約 10% である。  
はっしょうひん ど やく
2. 発症年齢<sup>はっしょうねんれい</sup>は 20 歳代<sup>さいだい</sup>が多い。  
おお
3. 好発部位<sup>こうはつぶい</sup>は舌尖<sup>ぜっせん</sup>である。
4. 浸潤<sup>しんじゆん</sup>は起こさない。  
お
5. 扁平上皮癌<sup>へんぺいじょうひがん</sup>が多い。  
おお

83 Alzheimer<sup>びょう</sup>〈アルツハイマー〉病<sup>ただ</sup>で正しいのはどれか。  
Alzheimer disease

1. 基礎疾患<sup>きそしつかん</sup>として高血圧症<sup>こうけつあつしやう</sup>が多い。  
おお  
hypertension
2. アミロイドβタンパク<sup>ちくせき</sup>が蓄積<sup>ちくせき</sup>する。
3. 初期<sup>しよき</sup>には記銘力障害<sup>きめいりよくしやうがい</sup>はみられない。
4. MRI 所見<sup>しよけん</sup>では前頭葉<sup>ぜんとうよう</sup>の萎縮<sup>いしゆく</sup>が特徴的<sup>とくちやうてき</sup>である。
5. 脳血流シンチグラフィ<sup>のうけつりゅう</sup>所見<sup>しよけん</sup>では頭頂葉<sup>とうちやうよう</sup>の血流増加<sup>けつりゅうぞうか</sup>がある。

84 食物<sup>しよくもつ</sup>の嚥下<sup>えんげ</sup>において喉頭蓋<sup>こうとうがい</sup>が喉頭口<sup>こうとうこう</sup>を閉鎖<sup>へいさ</sup>する時期<sup>じき</sup>はどれか。

1. 先行期<sup>せんこうき</sup>
2. 準備期<sup>じゆんびき</sup>
3. 口腔期<sup>こうくうき</sup>
4. 咽頭期<sup>いんとうき</sup>
5. 食道期<sup>しよくどうき</sup>

85 放射性同位元素ほうしゃせいどう いげん そもちを用いるのはどれか。

1. 脳血管造影のうけっかんぞうえい
2. 膀胱鏡検査ぼうこうきょうけん さ
3. 頭部CT検査とうぶ けん さ
4. 腹部超音波検査ふくぶ ちようおん ぽけん さ
5. 骨シンチグラフィこつ

86 地域包括支援センターちいきほうかつしえんの目的もくてきを定める法律さだはどれか。 ほうりつ

1. 介護保険法かいご ほけんほう
2. 健康増進法けんこうぞうしんほう
3. 社会福祉法しゃかいふくしほう
4. 地域保健法ちいき ほけんほう
5. 老人福祉法ろうじんふくしほう

87 動脈硬化症どうみやくこう かしょうの粥腫形成じゅくしゅけいせいに関与かんよするのはどれか。 ふた えら2つ選べ。  
arteriosclerosis

1. Langerhans〈ランゲルハンス〉細胞さいぼう
2. メサングウム細胞さいぼう
3. 血管内皮細胞けっかんない ひ さいぼう
4. 肥満細胞ひ まんさいぼう
5. 泡沫細胞ほうまつさいぼう

88 予防接種に生ワクチンが使用される疾患はどれか。2つ選べ。

1. ジフテリア  
diphtheria
2. 日本脳炎  
にほんのうえん  
Japanese encephalitis
3. 破傷風  
ぼしょうふう  
tetanus
4. 結核  
けつかく  
tuberculosis
5. 麻疹  
ましん  
measles

89 修正型電気けいれん療法について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 磁気を用いる。
2. 局所麻酔下で行う。
3. 筋弛緩薬を用いる。
4. 発生頻度の高い有害事象は骨折である。
5. 薬物治療抵抗性のうつ病は適応になる。  
depression

90 出生体重<sup>しゅっせいたいじゅう</sup> 3,100 g の新生児<sup>しんせいじ</sup>。日齢<sup>にちれい</sup> 3 の体重<sup>たいじゅう</sup>は 3,000 g である。

このときの体重減少率<sup>たいじゅうげんしょうりつ</sup>を求めよ。<sup>もと</sup>

ただし、小数点以下第2位<sup>しょうすうてんい</sup>を四捨五入<sup>かだい</sup>すること。<sup>い ししやごじゅう</sup>

かいとう  
解答：  .  %

①    ②

0    0

1    1

2    2

3    3

4    4

5    5

6    6

7    7

8    8

9    9

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(50 歳、男性、会社員)は半年ほど前から労作時に胸痛と呼吸困難感があり、  
狭心症と診断され内服治療を受けている。本日明け方から胸部に圧迫感があった。出  
angina pectoris  
勤途中に強い胸痛を自覚し、自ら救急車を要請した。救急外来到着時のバイタルサイ  
ンは、体温 35.8℃、呼吸数 30/分、脈拍 112/分、血圧 96/52 mmHg、経皮的動脈血  
酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉93% (酸素 2 L/分)。意識は清明。12 誘導心電図は V<sub>1</sub>～V<sub>4</sub> で ST  
上昇、II、III、aVF で ST 低下がみられた。

91 救急外来到着時に A さんの状態をアセスメントするために優先度が高い血液検  
査項目はどれか。

1. トロポニン T
2. 乳酸脱水素酵素
3. 血清クレアチニン
4. アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

92 心臓カテーテル検査の結果、A さんは急性心筋梗塞と診断された。心係数 2.4  
acute myocardial infarction  
L/分/m<sup>2</sup>、肺動脈楔入圧 20 mmHg で Forrester〈フォレスター〉分類 II 群であった。  
身体所見：両側下肺野で呼吸音が減弱しており、軽度の粗い断続性副雑音が聴取さ  
れる。

心エコー検査：左室駆出率〈LVEF〉58%

胸部エックス線検査：心胸郭比〈CTR〉48%

このときの A さんのアセスメントで適切なものはどれか。

1. 心拡大が認められる。
2. 肺うっ血が起きている。
3. 末梢循環不全が起きている。
4. 左心室の収縮力が低下している。

93 その後、Aさんは経皮的冠動脈形成術(PCI)を受けた。帰室時のバイタルサインは、体温36.2℃、呼吸数20/分、脈拍58/分、整、血圧80/40 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)95%(酸素1L/分)。顔面は蒼白、冷汗を認めた。意識は清明である。

このとき看護師が最初に行うことはどれか。

1. 側臥位にする。
2. 除細動器の準備を行う。
3. 穿刺部の出血の有無を確認する。
4. 鎮痛薬の処方を経済に相談する。

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、会社員、女性)は夫と 2 人暮らし。通勤中に突然の頭痛を訴えて倒れ、救急搬送された。入院後に行った頭部 CT 検査および頭部 MRI 検査で、  
のうしゅよう しんだん  
脳腫瘍と診断された。A さんは脳腫瘍摘出のために開頭術を受けた。  
brain tumor

94 きしつ ご かん ご てきせつ  
帰宅後の看護として適切なものはどれか。

1. 発熱時の冷罨法は禁忌である。
2. 徐脈時は経過観察とする。
3. ベッドの頭側を挙上する。
4. 頸部を前屈させる。

95 のうしゅようてきしゅつしゅじゅつ けつ か こう が しゅ しんだん ほうしゃせんりょうほう こうがんやくないふく  
脳腫瘍摘出手術の結果、膠芽腫と診断され、A さんは放射線療法と抗癌薬内服  
による化学療法を行うことになった。放射線療法を開始して 1 週後、A さんが頭  
か がくりょうほう おこな ほうしゃせんりょうほう かい し しゅう ご とう  
皮のかゆみを訴えたため、副腎皮質ステロイド軟膏が処方された。

A さんへの説明として適切なものはどれか。

1. 「定期的に髪の毛をそります」
2. 「かゆみが強いときは温めてください」
3. 「軟膏は放射線照射前に拭き取ってください」
4. 「かゆみは放射線照射の終了日にはおさまります」

96 放射線療法ほうしゃせんりょうほうと化学療法かがくりょうほうが開始かいしされて10日とおが経過けいした。Aさんはガーデニングの趣味しゅみがあり、庭にわが気きになるため週末しゅうまつの外泊がいぱくを希望きぼうし、主治医しゅじいから許可きょかが出た。

外泊がいぱくにあたりAさんへの説明せつめいとして適切てきせつなのはどれか。2つ選べ。

1. 「入浴じゅうよくは控ひかえてください」
2. 「食べ物たものの制限せいげんはありません」
3. 「ガーデニングの時ときは手袋てぶくろをしてください」
4. 「発熱はつねつを伴ともなわない咳せきは様子ようすを見みてください」
5. 「性交渉せいこうしょうの時ときはコンドームしようを使用しってください」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(82 歳、女性)は息子(57 歳、会社員)と息子の妻(55 歳、パート勤務)との 3 人暮らし。3 年前に Alzheimer<アルツハイマー>型認知症と診断され、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱb、要介護 2 である。A さんの介護は、主に息子の妻が行っていた。A さんは、声かけがあれば日常生活動作<ADL>を自分で行うことができた。しかし、A さんは徐々に認知症が重度化し、1 人で外出すると帰ってくることができなくなり、夜間に落ちつきなく動き回ることが多くなった。息子と息子の妻は A さんの介護について介護支援専門員に相談していたが、息子の妻は睡眠不足となり、体調を崩してしまった。そのため、A さんは介護老人保健施設に入所することになった。

97 看護師から A さんに施設について説明したが、その後も A さんは「ここはどこ」と繰り返し聞いていた。息子の妻は「私がやらなければいけないことは何ですか」と聞いてきた。

息子(むすこ)の妻(つま)に対する看護師(かんごし)の対応(たいおう)で最も適切(てきせつ)なのはどれか。

1. 「面会(めんかい)に来てください」
2. 「家族会(かぞukai)に参加(さんか)しましょう」
3. 「まずは休息(きゅうそく)をとみましょう」
4. 「認知症(にんちしやう)への対応(たいおう)を覚え(おぼ)ましょう」

98 入所(にゅうしょ)した日の夕方(ひゆうがた)、A さんは自分の荷物(じぶんにもつ)をまとめて「夕食(ゆうしょく)を作らなければいけないので、家(いえ)に帰(かえ)ります」と施設内(しせつない)を歩(ある)いている。

A さん(かんごし)への看護師(たいおう)の対応(てきせつ)で適切(てきせつ)なのはどれか。

1. 「他(ほか)の入所者(にゅうしょしや)と話(はなし)をしましょう」
2. 「椅子(いす)に座(すわ)ってお話(はな)ししませんか」
3. 「入所中(にゅうしょちゆう)なので家(いえ)には帰(かえ)れません」
4. 「歩(ある)くのは危(あぶ)ないのでやめ(やめ)ましょう」

99 入所して1週後。Aさんは、朝、声をかけられてもなかなか目を覚まさない。  
午前中は看護師が他の入所者と交流することを目的に共有スペースに誘導するが、  
Aさんは共有スペースの椅子に座ったまま眠ってしまい、レクリエーションへ誘  
われても参加はしない。夕方から夜間にかけてAさんは活動的となり、施設の廊  
下を歩き職員に話しかけている。

Aさんへの看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 朝の入浴を勧める。
2. 日中の散歩に誘う。
3. 朝はAさんが自分で起きるまで待つ。
4. 日中は椅子に座って過ごしてもらおう。

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A さん(83 歳、男性)は妻(81 歳)と 2 人暮らし。息子夫婦は共働きで同市内に住んでいる。A さんは自宅の廊下で倒れているところを妻に発見され、救急搬送された。A さんは右上下肢に力が入らず、妻の声かけにうなずくが発語はなかった。頭部 CT で左中大脳動脈領域の脳梗塞と診断されたため救急外来で血栓溶解療法が行われ、入院となった。血栓溶解療法による治療後 2 週。A さんは右上下肢麻痺、失語などの後遺症があるが、自宅への退院を希望したため、機能訓練の目的で回復期リハビリテーション病棟に転棟した。転棟後 1 日。A さんはベッドから車椅子への移乗動作の訓練を始めたが、健側の下肢筋力が低下しているため、立位のときにバランスを崩しやすい状況である。

100 A さんへの移乗時の援助で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. ズボンのウエスト部分をつかんで引き上げる。
2. ベッドの高さを車椅子の座面より低くする。
3. 床に離床センサーマットを設置する。
4. 車椅子を A さんの左側に準備する。
5. 移乗前に血圧測定を行う。

101 A さんは妻や看護師との話の内容は理解しているようだが、返答の際に言葉を間違えてしまうことや言葉がなかなか出てこないことがある。

A さんへの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. A さんの言葉を推測しながら話す。
2. A さんの言い誤りを訂正する。
3. 大きな声で話す。
4. 話題を変える。

102 転棟後5週。Aさんは歩行練習が開始となり、病棟内では日常生活動作〈ADL〉も徐々に自立してきている。食事は時々むせがみられるが、配膳すれば自力で摂取できる。排泄は車椅子でトイレへ移動しており、ズボンの着脱に介助が必要である。入浴はシャワーチェアに座り、手が届くところは自分で洗うことができる。歯磨きは一部介助が必要である。Aさんは早く自宅に帰りたいと話し、午前と午後後の機能訓練には積極的に参加しているが、機能訓練後は「疲れて何もしたくない」とベッドで横になり眠っている。夕方に面会に来た妻は「面会時にいつも疲れたと言って眠っているので、このままの状態ですべて退院して家で世話が出来るかどうか自信がありません。息子夫婦も仕事が忙しいので、介護を手伝ってもらえるかわかりません」と言っている。

看護師の妻への対応で最も適切なのはどれか。

1. 施設入所の検討を提案する。
2. トイレ介助の方法を指導する。
3. Aさんの機能訓練中の様子を見学を勧める。
4. 息子夫婦にも介護に参加してもらおうよう助言する。

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A ちゃん(2歳10か月、女兒)は昨日から下痢と嘔吐を繰り返し、食事が摂れなくなったため、母親に抱かれて小児科外来を受診した。診察の結果、ウイルス性胃腸炎による中等度の脱水症と診断され入院した。入院時、体温 38.2℃、呼吸数 36/分、心拍数 136/分であった。3 日前の保育所の身体計測では身長 90 cm、体重 12.5 kg であった。

103 A ちゃんにみられる状態はどれか。

1. 昏睡状態である。
2. 流涙は普段と変わらない。
3. 体重は3日前と変わらない。
4. 排尿頻度は普段通りである。
5. 皮膚のツルゴールは低下している。

104 A ちゃんは、個室隔離での入院となり、持続点滴静脈内注射が開始された。排泄が自立していないため普段から紙オムツを使用している。

A ちゃんのオムツ交換における注意点について、入院に付き添う母親への看護師の説明で適切なものはどれか。

1. 布オムツに切り替える。
2. 使い捨て手袋は1日1回交換する。
3. オムツ交換後に石けんで手洗いをを行う。
4. アルコール入りのおしり拭きで殿部の清拭を行う。

105 入院<sup>じゅういんふつか</sup>2日。Aちゃんは、水<sup>すい</sup>様便<sup>ようべん</sup>は続<sup>つづ</sup>いているが嘔吐<sup>おうと</sup>はなくな<sup>な</sup>った。付き添<sup>つきそ</sup>って  
る母親<sup>ははおや</sup>は「Aは<sup>おおな</sup>大泣<sup>おな</sup>きして、ストレスが溜<sup>た</sup>まっているみたいです。アイスクリーム  
を<sup>た</sup>食べたいみたいです」と看護<sup>かんごし</sup>師<sup>はな</sup>に話<sup>はな</sup>した。

このとき<sup>かんごし</sup>に看護<sup>ははおや</sup>師<sup>つた</sup>が母親<sup>ないよう</sup>に伝<sup>て</sup>える内容<sup>てきせつ</sup>で適切<sup>てきせつ</sup>なのはどれか。

1. プレイルームで遊<sup>あそ</sup>べること
2. アイスクリームを<sup>た</sup>食<sup>た</sup>べてよいこと
3. 個室<sup>こしつかくり</sup>隔離<sup>あした</sup>が明日<sup>かいじょ</sup>、解除<sup>かいじょ</sup>されること
4. Aちゃんの好<sup>す</sup>きなおもちゃ<sup>す</sup>を自<sup>じ</sup>宅<sup>たく</sup>から持<sup>じ</sup>参<sup>さん</sup>してよいこと
5. Aちゃんが静<sup>しず</sup>かに過<sup>す</sup>ごせるよう看護<sup>かんごし</sup>師<sup>ほうしつ</sup>の訪<sup>ほうしつ</sup>室<sup>ひか</sup>を控<sup>ひか</sup>えること

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A さん(32 歳、初産婦)は妊娠 39 週 4 日に 3,200 g の男児を経膣分娩で出産した。  
分娩時に会陰切開縫合術を受けた。児の Apgar〈アプガー〉スコアは 1 分後 9 点、5  
分後 10 点であった。分娩時の出血量 200 mL、分娩所要時間 12 時間 30 分であった。  
分娩室から病室に帰室する前に尿意を自覚したためトイレまで歩行し、排尿があっ  
た。

106 きしつじ かんごし おこな せつめい てきせつ  
帰室時に看護師が A さんに行く説明で適切なのはどれか。

1. 「排泄後は会陰部を消毒しましょう」
2. 「会陰縫合部が痛くなったら温めましょう」
3. 「6 時間おきにトイレに行って排尿しましょう」
4. 「悪露に血の塊が混じったら看護師に知らせてください」

107 さんじよくふつか たいおん みゃくはく ふん けつあつ しきゅうてい  
産褥 2 日、A さんは、体温 37.2℃、脈拍 76/分、血圧 112/80 mmHg、子宮底を  
さいか おうし かた ふ おろ せきかつしよく しょうりょう えいんほうごうぶ ほっせき しゅちょう  
臍下 2 横指に硬く触れ、悪露は赤褐色で少量。会陰縫合部の発赤なし、腫脹なし。  
かし ふしゅ みと にゅうぼうきんまん さゆう にゅうとうほん にゅうかん かいつう  
下肢の浮腫は認めない。乳房緊満があり、左右の乳頭に 2 本ずつ乳管が開通してお  
り、初乳がにじむ程度に分泌している。A さんは、看護師に会陰縫合部が痛くて  
ある 歩きにくいと話している。

A さんのアセスメントで適切なのはどれか。

1. 会陰縫合部の感染を起こしている。
2. 乳房の変化は産褥日数相当である。
3. 深部静脈血栓症の疑いがある。  
deep vein thrombosis
4. 子宮復古が遅れている。

108 産褥4日、看護師はAさんに退院指導をすることにした。Aさんの児の経過は順調である。

Aさんと児が受けられるサービスとして、看護師が退院指導時に説明するのはどれか。

1. 養育支援訪問
2. 育成医療の給付
3. 養育医療の給付
4. 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A さん(35 歳、男性、会社員)は妻(32 歳、主婦)と子ども(2 歳)と 3 人暮らし。5 年前にうつ病と診断された。半年前に営業部門に異動し、帰宅後も深夜まで仕事をす  
る日が続いていた。「仕事のことが気になってしまい、焦りと不安ばかりが増して眠  
れない。会社に行くのが苦しい、入院させてもらえないか」と訴えがあり、休養と薬  
物の調整を目的として精神科病院に入院となった。入院後、A さんから「実は薬を飲  
むのが嫌で、途中から飲むのをやめていたんです。薬を飲みたくないのですが、どう  
したらよいでしょうか」と看護師に相談があった。

109 看護師の A さんへの対応で最も適切なのはどれか。

1. 薬を飲みたくない理由を尋ねる。
2. 薬を飲むことを約束してもらう。
3. 自己判断で薬をやめたことへの反省を促す。
4. 薬の管理は A さんの妻にってもらうよう勧める。

110 入院後 1 か月、面会に来た妻から、「夫の会社から休業給付が出ないかもしれな  
いと言われました。子どもが小さく、生活費もかかるので、入院費用が払えるか心  
配です」と看護師に相談があった。

妻の相談に関して、看護師が連携する職種として最も適切なのはどれか。

1. 公認心理師
2. 作業療法士
3. 理学療法士
4. 精神保健福祉士

111 Aさんのうつ<sup>しょうじょう</sup>症状は改善<sup>かいぜん</sup>し、多<sup>た</sup>職種<sup>しよくしゆ</sup>で退院<sup>たいいん</sup>に向けた話し<sup>む</sup>合い<sup>はな</sup>を始<sup>あ</sup>めた。会社<sup>はじ</sup>の休職<sup>きゅうしよくせいど</sup>制度<sup>りよう</sup>を利用<sup>やす</sup>し休<sup>く</sup>んでいるAさんは、「薬<sup>くすり</sup>が効<sup>き</sup>いたので、今<sup>こん</sup>後<sup>ご</sup>も薬<sup>くすり</sup>を飲<sup>の</sup>み続<sup>つづ</sup>けることが大切<sup>たいせつ</sup>だと思<sup>おも</sup>っている。異<sup>い</sup>動<sup>どう</sup>したばかりなので仕事<sup>しごと</sup>に早<sup>はや</sup>く戻<sup>もど</sup>らなければと思<sup>おも</sup>うが、休職<sup>きゅうしよく</sup>してからず<sup>に</sup>と入院<sup>にゅういん</sup>しているので、すぐ<sup>はたら</sup>に働<sup>じ</sup>ける自<sup>じ</sup>信<sup>しん</sup>が<sup>ない</sup>」と看護<sup>かんご</sup>師<sup>し</sup>に話<sup>はな</sup>した。

退院<sup>たいいん</sup>に向けてAさんが利用<sup>む</sup>する社会<sup>りよう</sup>資源<sup>しゃかいしげん</sup>で適<sup>てき</sup>切<sup>せつ</sup>なのはどれか。

1. 就<sup>しゅう</sup>労<sup>ろう</sup>継<sup>けい</sup>続<sup>ぞく</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>
2. リワ<sup>り</sup>ーク<sup>えん</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>
3. 障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しゃ</sup>社<sup>しゃ</sup>会<sup>かい</sup>適<sup>てき</sup>応<sup>おう</sup>訓<sup>くん</sup>練<sup>れん</sup>事<sup>じ</sup>業<sup>ぎょう</sup>
4. ジョ<sup>じょ</sup>ブ<sup>ぶ</sup>コー<sup>こ</sup>チ<sup>ち</sup>に<sup>よ</sup>る<sup>る</sup>支<sup>し</sup>援<sup>えん</sup>

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(65 歳、女性、要支援 1)は 1 人暮らし。慢性心不全で定期的に外来受診していた。下肢の浮腫と息切れを自覚し、心不全の増悪があると診断されて入院となった。入院治療によって、両下肢に軽度の浮腫はあるが歩行による息切れは消失し、退院することになった。A さんは退院後の生活について「近くのスーパーに歩いて買い物に行くのが楽しみですが、息切れが心配です。何に気をつけたらよいですか」と病棟看護師に話した。

112 か もの じょげん ないよう もっと てきせつ  
買い物について A さんに助言する内容で最も適切なものはどれか。

1. 宅配サービスを利用する。
2. 移動には車椅子を利用する。
3. 荷物は両手に分散して持つ。
4. 途中で息切れを感じたら座って休む。

113 たいいん ご しん ふ ぜん ぞうあく よ ぼう もくてき ほうもんかん ご しゅう かいりょう  
退院後、心不全の増悪を予防する目的で訪問看護を週に 1 回利用することになった。A さんは夕方に下肢の浮腫が悪化するのを気にしており、訪問看護師に助言を求めた。

ほうもんかん ご し じょげん てきせつ  
訪問看護師の A さんへの助言で適切なものはどれか。

1. 「靴は大きめのサイズを選びましょう」
2. 「外出時は弾性ストッキングを履きましょう」
3. 「下肢の中樞から末梢にマッサージしましょう」
4. 「就寝時には湯たんぽを身体から 2、3 cm 離して置きましょう」

114 退院後3週、Aさんの浮腫は改善し心不全の増悪もなかった。Aさんは「同年代の人との交流を広げたいと思っています。利用できるサービスはありますか」と訪問看護師に質問した。

訪問看護師が地域包括支援センターに相談してAさんに提案する社会資源はどれか。

1. 高齢者サロン
2. 療養通所介護
3. 通所リハビリテーション
4. 共同生活援助〈グループホーム〉

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

ごぜん じごころ しんど きょう じしん はっせい に じきゅうきゅう いりょう き かん きゅうめいきゅうきゅうびょうどう きんむ  
午前9時頃、震度5強の地震が発生した。二次救急医療機関の救命救急病棟に勤務  
する看護師は、自身の身の安全を確保し、揺れが収まると病院の災害発生時のマニ  
アルに沿って行動を開始した。病棟には人工呼吸器を使用中の患者が1人、輸液ポン  
プを使用中の患者が3人、酸素療法中の患者3人が入院している。

115 この時点の看護師の対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 被災状況の報告
2. 入院患者の避難誘導
3. 傷病者の受け入れ準備
4. 入院患者の状態の把握
5. 使用中の医療機器の作動状況の確認

116 発災から3時間後、地震後に発生した火災現場付近から救出されたA君(6歳)  
と母親のBさん(32歳)の2人が搬送されてきた。A君は避難時に転倒し、左肘関  
節付近の腫脹と疼痛を訴えていた。バイタルサインに異常はない。Bさんは避難す  
る際にA君が煙に巻き込まれそうになるところをかばい、髪の毛の一部  
が焦げていた。右頬部に2cm×2cm、右上肢に5cm×10cmの紅斑と水疱を認  
める熱傷を負っていた。バイタルサインに異常はないが、熱傷部位の疼痛を訴えて  
いた。

トリアージの結果、看護師の初期対応として優先されるのはどれか。

1. A君の既往歴の聴取
2. A君への鎮痛薬の準備
3. Bさんの気道確保の準備
4. Bさんの熱傷部位の冷却

117 A君とBさんはともに入院して治療が始まった。発災から10日後、A君、Bさんの治療経過は良好で合併症もなくバイタルサインは安定していた。Bさんから看護師に「Aは好きなお菓子を食わず、私のそばからずっと離れず甘えてきます。昨夜はおねしょをしていたようで、びっくりしました。どうしたらよいのかわかりません」と相談があった。

看護師の対応として適切なのはどれか。

1. 「お母さんがしっかりしましょう」
2. 「A君が1人になる時間をつくりましょう」
3. 「A君に水分を控えるよう声をかけましょう」
4. 「A君が甘えてきたら抱きしめてあげましょう」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 118、119 の問いに答えよ。

A 君(男児)は 3 歳の誕生日を迎えた。生後 8 か月のときに鶏卵の摂取でアナフィラキシーを起こしたため、かかりつけ医を受診した。それ以降、現在まで A 君は鶏卵の摂取を禁止するよう説明されている。鶏卵以外の食物は摂取して問題がない。今回、A 君は保育所の入所にあたり、かかりつけ医からアレルギー外来のある B 病院を紹介され受診した。3 歳児健康診査が今後予定されている。A 君は身長 95 cm (50 パーセントイル)、体重 15 kg (75 パーセントイル)、自分の名前と年齢を答えることができる。階段を 1 人で昇ることができるが、スキップはできない。排泄はオムツにしている。

118 A 君の発育と発達のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 肥満である。
2. 言語発達に遅れがある。
3. 排泄の自立に遅れがある。
4. 運動発達は年齢相応である。

119 B病院の医師から母親に、アドレナリン自己注射薬を処方のうえ鶏卵の摂取制限を継続することと、近日中に鶏卵を用いた食物経口負荷試験を計画することが説明された。母親から看護師に「Aの保育所での生活や将来のことが心配です」と訴えがあった。

看護師の母親への説明で適切なのはどれか。

1. 「成長とともに卵を食べられるようになる子どもは多いです」
2. 「保育所でアレルギー疾患用生活管理指導表を作成します」
3. 「保育所でのアドレナリン自己注射薬は保護者が投与します」
4. 「給食の際は別室に移動して食べさせましょう」

つぎ ぶん よ と こた  
次の文を読み 120 の問いに答えよ。

A ちゃん(6 か月、女児)は両親と 3 人暮らし。母親と小児科外来に来院した。母親は「A は昨日高さ 30 cm のソファから転落して泣いていました。今朝になっても痛いのか右手を動かさないので受診しました」と看護師に話した。看護師が身体計測のため A ちゃんの服を脱がせると、顔面、頭部と体幹に最近できた紫斑と、生じてから時間が経った紫斑が複数あった。さらに、両足に多数の円形の熱傷痕があった。A ちゃんは身長 66.5 cm (50 パーセントイル)、体重 6.0 kg (3 パーセントイル未満)であった。母親は看護師に「A は毎晩夜泣きをするし、夫も A にはイライラさせられています」と話した。看護師は虐待の可能性があると考えて対応することとし、母子分離を図ることとなった。

120 このときの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 虐待にあたることを伝える。
2. 乳児期に起こりやすい事故について説明する。
3. 児童相談所に通告することへの母親の同意を得る。
4. プライバシーを保護できる個室で話を聞くと伝える。
5. 母親の代わりに父親が A ちゃんに面会できると伝える。











